

## 第6回 埼玉県の土砂災害対策に関する有識者委員会 議事録

令和4年3月18日（金） 15:00~17:00

埼玉教育会館 201 会議室

### ○ 出席者

- (委員長) 長田 昌彦 (埼玉大学大学院 理工学研究科)
- (委員) 内村 太郎 (埼玉大学 工学部) (WEB)
- 白木 克繁 (東京農工大学 農学部)
- 内田 太郎 (筑波大学 生命環境系)
- 岩谷 忠幸 (オフィス気象キャスター株式会社)
- 山越 隆雄 (国土交通省 国土技術政策総合研究所) (WEB)
- 杉本 宏之 (国土交通省 土木研究所) (WEB)
- 菊池 瞳 (国土交通省 関東地方整備局) (WEB)
- 水草 浩一 (埼玉県 県土整備部)

### ○ 議題

- (1) 「埼玉県における砂防関係施設長寿命化計画」の変更について
- (2) その他 埼玉県HPの改修について

### ○ 議事結果

「埼玉県における砂防関係施設長寿命化計画」の変更について、承認する。

### ○ 主な質問・意見

#### 【埼玉県における砂防関係施設長寿命化計画の変更について】

- ・ 埼玉県の地図上に修繕、改築・更新、除石のそれぞれの施設の分布がわかるようになると良い。
- ・ 計画期間について、「例えば、健全度Cの施設のうち、こういうケースでは優先的に対策を行う」等の考え方を整理しておくのが良い。
- ・ 除石は最上部の水抜き高さまで行うと表現されているが、水抜き孔の目的は仮設中の流水処理を目的としているため、限定的な表現は見直したほうが良い。
- ・ 劣化予測は、現時点で定点観測ができていないため、定期点検結果の写真を整理して対応することで良いと考える。22ページの点検カルテにUAV（ドローン）の画像も整理できるようにしておくこと今後の劣化予測に活用できると考える。
- ・ 除石をしてはいけない堰堤（修繕が必要な堰堤等では除石を行うと土石流が直撃し壊れる、山脚固定を目的した砂防堰堤等）の説明があればさらに良い。
- ・ 全砂防施設 3119 の約半数が流路工であるが、流路工の除石工の考え方の整理も今後検討すると良い。
- ・ 除石した土砂の土捨場の確保が重要となるが、計画的に確保できることが望ましい。
- ・ p20 点検結果より健全度BからCに変わる施設に対しても適宜見直す等の説明を追記すると良い。
- ・ 健全度Cの施設をさらに劣化させないことも予防保全とも考えられる。
- ・ p13 のクラックは土砂を撤去したところまで伸びており、このケースでは地表部まで伸びていたため

確認できたと考えられるが、土中のクラック等の変状を確認することは可能なのか。

- ・ 除石計画の 94 基はコンクリート砂防堰堤を対象としており石積み堰堤は除外しているため、今後石積み堰堤で除石して利用することもあるので基数が増加することが考えられる。
- ・ 長寿命化計画を公表して県民が見た場合、30 年間で健全度Cの対策を行うことに不安が生じるため、補足説明を加えたほうが良い。
- ・ 2) 対策方針の実施にあたっては、” 新技術を積極的に取り入れてコスト縮減を図る ” 等の内容を追記したほうが良い。

#### 【その他 埼玉県HPの改修について】

- ・ 資料では山間部の土砂災害のイメージとなっているように思えるが、埼玉県内の土砂災害を整理して県内の土砂災害の特徴を示すようにしたほうが良い。
- ・ 図中の” チョロチョコ ” の表現が大雨の後に急に流量が減った土砂ダムのことを表現していると思うが、砂防を専門とする大学の先生等に表現や模式図について確認・相談するのが良い。
- ・ 埼玉県が所有している土砂災害の画像や動画を多くウェブページに入れダウンロードできるようにして、防災士や気象予報士の方々が防災教育に活用できるようにして欲しい。
- ・ 一般論の” 土砂災害とは ” 等は、極力URLのリンクを利用し、できる限り埼玉県のオリジナル性を出したウェブページにして欲しい。
- ・ 1 項目は歴史的砂防施設の内容になっているが、2 項目以降は歴史的砂防施設以外の内容のため、見直した方が良い。
- ・ 気象庁ホームページの箇所が九州地方になっているので関東に修正したほうが良い。
- ・ ウェブページの目的は、土砂災害を知ってもらってソフト対策として逃げてもらい命を守る情報またはツールの一つと考えられる。地域毎で土砂災害の種類毎に注意する点もことなるため、例えば「土石流災害が心配な方へ」、「がけ崩れが心配な方へ」、「地すべりが心配な方へ」等、必要な情報に到達しやすいウェブページのコンテンツが良い。
- ・ 動画をアップできると、より魅力的なウェブページのコンテンツになると思われる。県の若い職員が土石流災害や歴史的砂防施設について説明するような事も考えられる。
- ・ ウェブページは公表しながら改善していくのが良い。その中で地元の情報や材料(土砂災害の画像等)を集め、その都度修正していくのが良い。

以上